

2009年4月、武蔵工業大学は

 **東京都市大学** に変わります。(予定)
TOKYO CITY UNIVERSITY

武蔵工業大学後援会誌 [マイコム]

M/COM

no. **38** 2008.8

- 後援会長挨拶……p1
- 平成20年度 評議員会が開催される……p2
- 平成19年度 事業報告……p3
- 平成19年度 決算……p7
- 平成20年度 役員・評議員……p8
- 平成20年度 事業計画……p9
- 平成20年度 予算……p10
- Campus Topics……p11
- 平成20年度 「大学と父母との連絡会」のお知らせ……p15

写真：平成20年度 体育祭



後援会長挨拶

常日頃、先生方や学校関係の方々、またご父母の皆様方から後援会活動に対し、多大な援助をいただきありがとうございます。この場を借りてお礼申し上げます。

さて私の学生時代の思い出をもとに、若き学生の皆さんの将来が夢に満ち、実り多いものになる事を願い、アドバイスを書いてみます。

まず第一に、在学中に現在気づいていない自分の隠れた能力を、是非見つけ出して欲しいという事です。皆さんは、入学されるまで学校の先生方や指導者の方、またご両親のもと、学業や課外活動、趣味等の活動をやって来られました。大学生になった今、自分の目で見、自分で考え、自分の役割を果たしていく事を少しずつ経験していきます。そうした未経験の役割を通して、今まで気づかなかった新たな適性や特徴を見出す事が出来るのだと思います。そのためには、より多くの事に興味を持つとともに、新しい事に挑戦することです。その過程で自分の知らなかった未知の力を少しでも多く見つけて欲しいと思います。

第二に「やる」時期にはタイミングがあるという事です。年齢、周囲の環境等々、やるべき事にはそれに相応しい時期がある様に思います。もちろん、いつでも必要と感じた時期に、必要な活動を開始する事は多いに意味がありますが…。

大学生という時代はエネルギーがあり、感受性や創造性が豊かな時代です。さらに、時間的な拘束が少なく、何かをやらうとすれば相当の事が出来ます。また、新しいアイデアや概念は、若い時代に原点から考え抜いた時に創造されると思います。

運動面、文化面の活動でも、学生時代に熱中して活動すれば、セミプロの領域まで高められる可能性もあります。誰にも負けない一芸を持つ事は、自分の自信にもつながり大きな財産になります。

大学の先生方の指導のもと、学業に加え課外活動に真剣に取り組み、自分の潜在能力を引き出し、実り多き学生時代を過ごされる事を希望します。



武蔵工業大学後援会
平成20年度会長

高瀬 経行

*** 平成20年度 評議員会が開催される ***

武蔵工業大学後援会の平成20年度の評議員会が、役員・理事33名(内委任出席11名)、評議員94名(内委任出席21名)の127名、加えて、顧問1名、後援会事務局8名の出席のもとに開催されました。

評議員会の開催にあたり、榎本会長より、後援会の概要や平成20年度の評議員・新評議員の説明があり、続いて、後援会事務局より平成20年度後援会入会者数及び会員数等についての報告があった後、議事に入りました。

議事は議案ごとに事務局より説明・提案され、その後、この説明に基づいて審議した結果、原案の通り承認されました。

武蔵工業大学後援会
平成20年度評議員会

平成20年5月24日(土)午後2時45分
世田谷キャンパス312教室(五島記念館1F)

- 1.開会の辞 榎本会長
- 2.報告事項
平成20年度後援会入会者数及び会員数について
- 3.議 事
第1号議案 平成19年度 事業報告について
第2号議案 平成19年度 決算報告について(緊急奨学金含む)
第3号議案 平成20年度 役員(案)について
第4号議案 平成20年度 事業計画(案)について
第5号議案 平成20年度 予算(案)について(緊急奨学金含む)
- 4.そ の 他
- 5.閉会の辞 高瀬副会長



※ 議事を進める榎本会長



※ 評議員会議事進行風景



※ 中村学長の挨拶



※ 審議風景(312教室にて)

〈平成20年度後援会会員数〉平成20年4月15日現在

●学部		学年	1年生	2年生	3年生	4年生	卒業延期	合計
工学部	機械		127	134	129	120	18	528
	機械システム		118	91	110	102	35	456
	原子力安全		34					34
	生体医		46	49				95
	電気電子		139	116			1	256
	電気電子情報				108	100	15	223
	エネルギー基礎						1	1
	環境エネルギー			99	83	79	7	268
	エネルギー化学		80					80
	建築		119	118	128	113	11	489
	都市基盤				100	100	25	225
	都市		91	84				175
	コンピュータ・メディア				103	101	24	228
電子通信				100	86	22	208	
システム情報				97	87	19	203	
知識工学部	情報科学		115	108				223
	情報ネットワーク		67	71				138
	応用情報		107	109				216
環境情報学部	環境情報		237	219	208	200	40	904
	情報メディア		236	243	235	212	53	979
合 計			1,516	1,441	1,401	1,300	271	5,929

●大学院		専攻	学年	修・博合計
工学研究科	環境情報学	機械		54
		機械システム		58
		電気		183
		建築		79
		都市		27
		システム情報		62
エネルギー量子		53		
環境情報学	環境情報		61	
合 計				577

1 事業

1.正課外教育援助

(1-1) 課外活動援助 (総額25,959,779円)

<1-1-1> 学生団体連合会へ援助 (総額17,500,000円)

団体名	金額	
学生団体連合会	1,770,982	
体育会	4,906,684	内訳は資料2
文化団体連合会	2,731,736	内訳は資料3
同好会連合	1,516,727	内訳は資料4
新聞会	189,776	
吹奏楽団	814,582	
放送会	684,513	
MI-TECH祭実行委員会	2,800,000	
MI-TECH横浜祭実行委員会	2,000,000	
MI-TECH祭運営委員会	85,000	
MI-TECH横浜祭運営委員会	0	
合計	17,500,000	

資料2 体育会援助内訳

	団体名	金額
1	体育祭等(体育会本部)	760,684
2	空手道部	100,000
3	剣道部	158,109
4	柔道部	147,228
5	硬式野球部	162,719
6	ワンダーフォーゲル部	130,000
7	バスケットボール部	165,549
8	水泳部	148,500
9	ラグビー部	186,539
10	サッカー部	161,809
11	ハンドボール部	162,779
12	卓球部	170,109
13	バレーボール部	169,139
14	硬式庭球部	190,089
15	ソフトテニス部	177,719
16	アイスホッケー部	161,579
17	バドミントン部	161,779
18	弓道部	166,879
19	ヨット部	154,399
20	合気道部	142,049
21	少林寺拳法部	148,069
22	準硬式野球部	176,079
23	アメリカンフットボール部	186,139
24	陸上競技部	156,228
25	ソフトボール部	142,228
26	ゴルフ部	141,385
27	フットサル部	178,899
	合計	4,906,684

資料3 文化団体連合会援助内訳

	団体名	金額
1	バンドフェスティバル等(文団連本部)	405,176
2	サイクリング部	114,000
3	自動車部	136,500
4	ウェスタンクラブ	133,000
5	SFファンタジー研究部	83,000
6	天文研究会	102,000
7	ハワイアンクラブ	125,000
8	グリークラブ	96,000
9	映画研究部	60,000
10	音楽同好会PLAM	127,000
11	マンドリンクラブ	120,000
12	鉄道研究部	120,000
13	パチエラーセブン	130,000
14	特許アイデア研究部	79,000
15	フォークソングクラブ	132,000
16	美術部	123,000
17	写真部	105,000
18	潜水科学研究会	122,500
19	航空研究部	145,000
20	モーターサイクル部	90,000
21	軽音楽同好会スナイパーズ	127,000
22	ダンス部LAVI	56,560
	合計	2,731,736

資料4 同好会連合援助内訳

	団体名	金額
1	同好会連合本部	299,287
2	ワンデリングスキー同好会	56,560
3	フォルテローンテニス同好会	56,560
4	アウトドアライフ同好会	56,560
5	スカイスポーツ同好会	56,560
6	グリーンホーンテニス同好会	56,560
7	テニスサークルCircus	56,560
8	バトミントンサークル エンデバー	56,560
9	自由研究サークル 天津甘栗	56,560
10	バスケットボール同好会 ドーナッツ	56,560
11	環境サークル グリーンデイズ	56,560
12	デラバージュスキー同好会	46,560
13	ゼフィルススキー同好会	46,560
14	景観研究会 AIEL	46,560
15	ツーリング同好会	46,560
16	漫画アニメ同好会	46,560
17	軟式野球同好会	46,560
18	映像メディアサークル Cue	46,560
19	バレーボールサークル Atlas	46,560
20	オールラウンドスポーツサークル Plukogi	46,560
21	ルーヴェテニス同好会	46,560
22	軟式野球サークル 横浜CABOS	46,560
23	サッカー同好会 サーパス	46,560
24	写真サークル ナンシー	46,560
25	Eco-Works	46,560
	合計	1,516,727



〈1-1-2〉学科研究会等へ援助(総額500,000円)

機親会・如学会・環境情報学科学学生会・情報メディア学科学学生会・ISO学生委員会(1団体100,000円)

〈1-1-3〉一般援助(総額 4,184,984円)

	団体名	金額
7月募集分	1 学生団体連合会横浜分室 (インクジェットプリンタ購入の補助)	18,800
	2 自動車部 (競技大会参加における活動費の補助)	189,250
	3 ウェスタンクラブ (主催ライブ活動への補助)	80,000
	4 パチンカーセブン (軽音楽団体のライブ活動への補助)	90,000
	5 剣道部 (関東連盟・東京都剣道クラブ登録費用の補助)	37,700
	6 水泳部 (冬期練習場レンタル料の補助)	30,700
	7 バレーボール部 (関東大学男子10部優勝9部昇格への補助)	100,000
	8 ソフトテニス部 (春季リーグ戦・春季理工系団体戦優勝への援助)	200,000
	9 アイスホッケー部 (年間リンク使用料の補助)	450,000
	10 アメリカンフットボール部 (スポーツ保険料の補助)	283,500
11月募集分	1 MI-TECH祭運営委員会 (ラチェット購入への補助)	43,800
	2 ウェスタンクラブ (主催ライブ活動への補助)	20,000
	3 パチンカーセブン (秋季定期演奏会費用の補助)	100,000
	4 剣道部 (関東連盟追加部員登録費の補助)	9,600
	5 ラグビー部 (スポーツ保険の半額補助)	28,500
	6 硬式庭球部 (関東理工系大会等での活躍に対し援助)	110,000
	7 ソフトテニス部 (関東学生ソフトテニス連盟登録費の補助)	18,500
	8 フットサル部 (東京都フットサルオープンリーグ大会の登録費の補助)	10,000
1月募集分	1 学生団体連合会横浜分室 (トランシーバー購入の補助)	135,059
	2 新聞会 (ラグビー部全国大会出場への取材に対する補助)	128,820
	3 マンドリンクラブ (第45回定期演奏会費用の補助)	74,000
	4 剣道部 (関東連盟追加部員登録費の補助)	2,400
	5 ワンダーフォーゲル部 (保険料の補助)	25,340
	6 ラグビー部 (地区対抗優勝による全国大会出場への補助)	100,000
	7 バレーボール部 (関東大学男子9部優勝8部昇格への補助)	1,449,000
	8 バレーボール部 (関東大学男子9部優勝8部昇格への補助)	100,000
	9 アメリカンフットボール部 (秋季リーグ戦参加費の補助)	58,500
MI-TECHイベントプロジェクトサポート		291,515
合計		4,184,984

〈1-1-4〉学生行事への援助(総額802,645円)

- ① 体育会主催のナイトラリーの運営費363,340円を補助
- ② 文化団体連合会主催のバンドフェスティバルの運営費200,000円を補助
- ③ スプリングフェスティバルの運営費239,305円を補助

〈1-1-5〉強化団体への援助(総額900,000円)

平成19年度の強化団体として指定したラグビー部、アメリカンフットボール部、ハンドボール部に対し、チーム強化のための資金として1団体300,000円を補助

〈1-1-6〉その他の援助(総額2,072,150円)

- ① シャトルバスの運行(曜日限定の増便)に対し1,872,150円を援助
- ② アメリカンフットボール部の1部昇格に対し、200,000円を援助

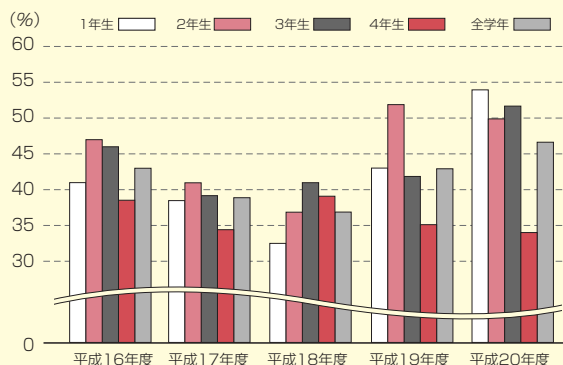
(1-2) 学生顕彰(総額618,073円)

〈1-2-1〉課外活動奨励賞

大学の学生表彰(学長賞、学部長賞、学生部長賞)に次ぐ表彰として選考し、授与及び副賞を贈呈

	団体名・個人名	内容	金額
団体	準硬式野球部	新関東大学準硬式野球春季リーグ戦において2部優勝1部昇格	30,000
	バレーボール部	平成19年度秋季関東大学男子9部リーグ戦において優勝8部昇格	30,000
個人	岡部 剛広 (電子通信4年)	ソフトテニス部 平成19年度関東学生理工科系春季ダブルス戦優勝	10,000
	菊池 学 (環境情報4年)		
	伊藤 友美 (電子通信2年)	ソフトテニス部 平成19年度関東学生理工科系秋季ダブルス戦優勝	10,000
	近藤 裕美 (環境情報2年)		
	土井 洋和 (環境情報3年)	フットサル部 関東学生リーグ2007得点王2位	10,000
萩原 雅之 (機械4年)	機親会 2007全日本ノーラー&FCカーチャ ンピオンシップH-2クラス第3位		
賞状及び筆耕代			10,365
合計			110,365

〈過去5年間の在学生クラブ加入率〉



〈1-2-2〉後援会長賞

在学中、課外活動に貢献した学生を選考し、23名に後援会長賞を学位授与式にて授与し副賞を贈呈

副賞:男子学生には、ワイシャツとネクタイのセット
女子学生には、商品券2万円



後援会長賞授与

氏名(※印は女子)	所属学科	所属団体(役職)
川崎 和俊	機械	体育会本部(渉外)(横浜祭実行委員長) 学生団体連合会(会計)
北條 嵩	機械	学生団体連合会(副執行委員長) 文化団体連合会(副本部長)
渡邊 俊	機械	文化団体連合会(本部長)
渡辺 将仁	機械	体育会本部(厚生) バスケットボール部(副主将)
光武 和也	機械システム	アメリカンフットボール部(主将)
大坪 弘治	電気電子情報	体育会本部(副会長)
趙 博	電気電子情報	世田谷留学生会(会長)
深水 聖司	電気電子情報	学生団体連合会(執行委員長)
細川 亮介	電気電子情報	同好会連合(副会長)
渡邊 将	電気電子情報	体育会本部(会長)
菅野 翔	コンピュータ・メディア	M.F.A.(副会長)
高木 宏	コンピュータ・メディア	体育会本部(企画) 卓球部(主将)
本河 恵美*	コンピュータ・メディア	学生団体連合会(広報) 文化団体連合会(管理)
岡庭 一憲	都市基盤	放送会(会長)
藤田 雅広	都市基盤	ラグビー部(主将)
鈴木 翠*	システム情報	学生団体連合会(執行委員) 文化団体連合会(渉外) 第77回MI-TECH祭実行委員会(副実行委員長) マンドリンクラブ(広報)
武川 光伸	環境エネルギー	学生団体連合会(学園祭会計) 文化団体連合会(渉外)
小部山 緑*	環境情報	学生団体連合会(執行委員) 同好会連合(役員)
遅 健	環境情報	横浜留学生会(会長)
青山 真	情報メディア	Y.F.A.(会長)
荻谷 さおり*	情報メディア	学生団体連合会横浜分室(副分室長)
清水 達也	情報メディア	同好会連合(会長)
錦織 直美*	情報メディア	学生団体連合会横浜分室(室長) 新聞会(会長)
ワイシャツ・ネクタイ18人分388,508円、商品券100,000円 計 488,508円		
賞状・筆耕代計 19,200円		
合計 507,708円		

(1-3) 学生の生活指導に対し228,940円を援助

〈1-3-1〉全学生団体を対象に救命講習会の受講を義務付けさせ、その受講費用を負担(1団体1名を義務付け、101名が参加)

〈1-3-2〉リーダーズ研修会におけるテーピング講習会の実施に対し、補助



救命講習会

2. 大学と父母との連絡会の共催

○全国23会場で開催された大学と父母との連絡会の費用の一部4,463,115円を負担

○大学会場(世田谷・横浜)においては榎本会長が後援会を代表して挨拶
地方会場においては、評議員の方々に会の運営等にご協力をいただいた

平成19年度「大学と父母との連絡会」の結果について

- 開催期間 平成19年9月1日～9月29日までの間
- 開催地 全国23会場
- 参加者 父 母 1,231世帯(1,725名)
東京・横浜会場 836世帯(1,189名)
全国各地区会場 395世帯(536名)
教職員 50名(全国各地区派遣者)

4. 今年度の結果と特徴

イ. 在籍者数に対する出席率は21.1%と前年を0.6%上回った。
ロ. 地区会場は対象者の平等性、利便性等を配慮し、今年度は千葉会場・さいたま会場を新たに加えた。

ハ. 父母との懇談では、今年は景気の上向き傾向にはあるものの就職問題と関連して大学院進学が各会場での話題となった。その他、成績・卒業に関することが話題の中心であった。
ニ. 今年度も武蔵工業会(本学同窓会)の地方支部の役員に出席願ひ、各々の地区における卒業生の就職状況や活躍状況を説明していただいた。

〈出席状況〉

開催地	出席者	開催地	出席者	開催地	出席者
札幌	11	横浜	229	静岡	41
仙台	21	高崎	13	浜松	21
郡山	13	新潟	11	名古屋	21
宇都宮	27	甲府	29	広島	10
水戸	28	長野	13	福岡	24
千葉	18	富山	11	鹿児島	11
さいたま	28	金沢	7	沖縄	6
東京	607	三島	31	合計	1,231

3. 大学行事への協力(総額2,717,537円)

- (3-1) 体育会主催の体育祭の運営費の一部219,500円を補助
- (3-2) 学生団体連合会主催によるMI-TECH横浜祭の運営費の一部1,500,000円を補助
- (3-3) 学生団体連合会主催によるMI-TECH祭の運営費の一部860,000円を補助、また、学園祭活性化支援として、展示、研究発表の研究室等へ経費の一部138,037円を補助



4. 学生厚生援助 (総額986,580円)

(4-1) 世田谷キャンパスのグラウンド系団体(多摩川河川敷) 冬期練習用として可動式投光機1台(840,000円)を寄贈

(4-2) 横浜キャンパスのクラブハウス用として業務用掃除機2台(146,580円)を寄贈



可動式投光機

5. 会誌の発行 (総額3,601,500円)

会誌「MI-COM 36号・37号」を刊行、送付(8月・1月)

6. 新入生研修行事(フレッシュマン・キャンプ)に対する援助(総額11,648,000円)

平成19年4月6・7日に実施された新入生を対象とした研修行事に対して、学生1人当たり8,000円補助

学群	実施場所	参加者	単価	研修内容
機械	長野県 蓼科	297	22,500	国立天文台・クラスミーティング・ポスターセッション等
電気・エネルギー	千葉県 富浦	316	22,000	施設見学・スポーツ大会 全体研修・グループミーティング・飯盒炊爨
建築・都市	新潟県 津南	262	16,800	雪国農耕文化村センター・森の学校キョロロ・十日町情報館・柏崎原発
情報	千葉県 木更津	329	21,000	グループ紹介・ポスター作り・ポスターセッション・履修相談・マザー牧場
環境情報	山梨県 鳴沢村	516	18,500	スポーツ大会・フレンドシップアワー・学生生活ガイダンス・飯盒炊爨

※参加者は、教員と上級生を含み、1,720名。 ※大学からも1人8,000円支出。

7. 就職活動に対して援助(総額6,940,800円)

実施日	検査内容	対象	受験者数	単価	金額
4月3日	自己発見レポート	世1年	973	2,400	2,335,200
4月4日	自己発見レポート	横1年	458	2,400	1,099,200
4月4日	自己プログレスレポート	世2年	721	2,400	1,730,400
4月4日	自己プログレスレポート	横2年	415	2,400	996,000
6月14~18日	キャリアアプローチ	世3年	526	1,000	526,000
9月20日	キャリアアプローチ	横3年	254	1,000	254,000
合計			3,347		6,940,800

※ベネッセコーポレーションの商品を使用。

8. 後援会緊急奨学金

会員の家計急変により学業の継続が困難な学生に対して授業料相当額(全額又は半額)を無利子で貸与するもので、平成19年度は1名に対し1,340,000円を貸与

9. 後援会案内等の送付

平成20年度各入学試験合格者の合格通知に後援会パンフレットを同封して発送

10. その他(大学行事への協力等)

- 平成19年度入学式に相模前会長が来賓として出席し祝辞(平成19年4月2日)
- 大学へ「課外活動奨励賞」の候補者の推薦依頼
- 大学へ「後援会長賞」の候補者の推薦依頼
- 平成19年度学位授与式に榎本会長が来賓として出席し、後援会長賞を授与(平成20年3月19日)

2 運営

1. 理事会(2回)

(1) 第1回 平成19年5月12日(土)

- | | |
|-------|--------------------|
| 第1号議案 | 平成18年度 事業報告について |
| 第2号議案 | 平成18年度 決算報告について |
| 第3号議案 | 平成19年度 役員(案)について |
| 第4号議案 | 平成19年度 事業計画(案)について |
| 第5号議案 | 平成19年度 予算(案)について |

(2) 第2回 平成19年11月24日(土)

- | | |
|-------|-----------------------------|
| 第1号議案 | 平成19年度 後援会事業経過について |
| 第2号議案 | 後援会の次年度に向けての運営について |
| 2-1 | 平成20年度 後援会主要会議等日程(案) |
| 2-2 | 平成20年度 後援会役員、評議員構成(案) |
| 報告事項 | 1.平成19年度「大学と父母との連絡会」の結果について |
| | 2.その他 |

2. 評議員会(1回)

平成19年5月26日(土)

- | | |
|-------|--------------------|
| 第1号議案 | 平成18年度 事業報告について |
| 第2号議案 | 平成18年度 決算報告について |
| 第3号議案 | 平成19年度 役員(案)について |
| 第4号議案 | 平成19年度 事業計画(案)について |
| 第5号議案 | 平成19年度 予算(案)について |

なお、当日は評議員会に先立って、新たにお問い合わせの新評議員の顔合わせ及び説明会を行った
評議員会終了後には、大学教職員との懇談会を開催した

3. 会計監査

平成19年4月21日(土)

近藤、野村両会計監査により、平成18年度の会計監査を実施

4. その他

平成19年度 決算

平成19年4月1日～平成20年3月31日

科目	予算	決算	執行率	備考
(収入の部)	(円)	(円)	(%)	
1. 会費	72,560,000	72,560,000	100	※1 利息収入
2. 雑収入	145,000	184,587	127	
3. 前年度繰越金	9,796,935	9,796,935	100	
収入の合計	82,501,935	82,541,522		
(支出の部)				
事業費	62,948,000	57,164,324	91	詳細は事業報告をご覧ください
1. 正課外教育援助費	31,100,000	26,806,792	86	
1-1 課外活動援助費	29,900,000	25,959,779	87	
1-1-1 学生団体連合会援助	17,500,000	17,500,000	100	
1-1-2 学科研究会等援助	800,000	500,000	63	
1-1-3 一般援助	7,500,000	4,184,984	56	
1-1-4 学生行事援助	900,000	802,645	89	
1-1-5 団体強化援助	900,000	900,000	100	
1-1-6 その他の援助	2,300,000	2,072,150	90	
1-2 学生顕彰費	800,000	618,073	77	
1-3 学生生活指導費	400,000	228,940	57	
2. 父母連絡会費	4,500,000	4,463,115	99	
3. 大学行事協力費	3,600,000	2,717,537	75	
4. 学生厚生援助費	1,000,000	986,580	99	
5. 会報発行費	4,000,000	3,601,500	90	
6. 新入生研修行事費	11,648,000	11,648,000	100	
7. 就職活動援助費	7,100,000	6,940,800	98	
運営費	9,350,000	7,340,986	79	
8. 事務費	5,400,000	4,158,305	77	人件費・事務委託費等
9. 会議費	800,000	710,566	89	理事会・評議員会等
10. 印刷・通信費	1,000,000	646,595	65	通知・案内の郵送・印刷代
11. 旅費・交通費	1,800,000	1,692,920	94	地方役員・評議員の交通費
12. 備品費	300,000	95,550	32	後援会関係の備品・什器
13. 雑費	50,000	37,050	74	振込手数料
予備費	300,000	211,769	71	慶弔費等
特別会計 ※2	6,000,000	6,000,000	100	
14. 後援会基本積立	0	0	0	
15. 記念事業費積立	4,000,000	4,000,000	100	大学創立記念事業協力
16. 学生事故対策援助費積立	2,000,000	2,000,000	100	※3
17. 特別課外活動援助費積立	0	0	0	
小計	78,598,000	70,717,079	90	
次年度繰越金	3,903,935	11,824,443	303	
支出の合計	82,501,935	82,541,522	100	

※1 入学総数1,456名 この内の20名が留学生でその内の5名が入金。(計72,050,000円)
更に、2年編入生(@4万)6名、3年編入生(@3万)9名が入金。(計 510,000円)
留学生については、家計を考慮し会費納入は各自の自由意志に任せている。

※2 平成19年度末における積立残高は、
14.後援会基本積立 26,600,000円
15.記念事業費積立 20,000,000円
16.学生事故対策援助費積立 12,000,000円
17.特別課外活動援助費積立 5,000,000円

※3 準備額1,000万円を2,000万円に変更し、19年度より新たに200万円の積立を開始した

平成19年度 緊急奨学金決算

経常収入の部	当期予算	当期実績
前年度繰越金	13,722,977	13,722,977
緊急奨学金返済収入	5,111,000	1,154,500
利息収入	18,000	22,377
経常収入計	18,851,977	14,899,854
経常支出の部		
緊急奨学金貸付支出	2,680,000	1,340,000
貸倒損失	0	0
雑費	2,000	315
経常支出計	2,682,000	1,340,315
経常収支	16,169,977	13,559,539

(単位:円)

平成20年度 役員・評議員

役員 (敬称略)

会長	高瀬 経行	東京都	環境情報	(新)
副会長	井上 淳	東京都	エネルギー量子工学専攻	(再)
副会長	平井 忠雄	神奈川県	建築	(新)
会計監査	近藤 亮平	新潟県	機械システム工学専攻	(再)
会計監査	近藤 真一	東京都	環境情報	(新)
理事	森谷 正彦	神奈川県	電気工学専攻	(再)
理事	羽室 俊昭	神奈川県	電気工学専攻	(再)
理事	落合 勇	東京都	電気工学専攻	(再)
理事	稲瀬 彰	神奈川県	機械	(再)
理事	関野 裕美子	神奈川県	電子通信	(再)
理事	前田 仁	神奈川県	都市基盤	(再)
理事	佐野 遵	神奈川県	環境エネルギー	(再)
理事	森 恵次郎	神奈川県	情報メディア	(再)
理事	竹内 清隆	神奈川県	機械システム	(再)
理事	平 博光	東京都	電子通信	(再)
理事	鈴木 博仁	神奈川県	コンピュータ・メディア	(再)

理事	小林 正弘	東京都	環境エネルギー	(再)
理事	荒川 秀雄	東京都	環境情報	(再)
理事	田中 耕一	東京都	機械システム	(新)
理事	鈴木 宏之	福島県	電気電子	(新)
理事	日下部 隆久	神奈川県	建築	(新)
理事	鈴木 誠三	栃木県	建築	(新)
理事	藤井 智俊	広島県	情報科学	(新)
理事	榎本 義己	神奈川県	環境情報	(新)
理事	堀内 忠	東京都	情報メディア	(新)

顧問 学長 中村 英夫
顧問 教授 浅野 鉦世

評議員 (敬称略)

水野 博次	神奈川県	機械工学専攻	(再)
猪熊 康夫	静岡県	電気工学専攻	(再)
菅原 次郎	神奈川県	都市基盤工学専攻	(再)
赤羽 功司	東京都	エネルギー工学専攻	(再)
山田 昌義	静岡県	システム工学専攻	(再)
桜井富美夫	東京都	システム情報工学専攻	(再)
堀口友四郎	神奈川県	環境情報学専攻	(再)
内藤 節雄	徳島県	機械システム	(再)
古屋 優	東京都	電気電子情報	(再)
阿部 正	秋田県	コンピュータ・メディア	(再)
高橋 正憲	東京都	機械	(再)
永田 浩二	鹿児島県	機械	(再)
児玉 雅俊	東京都	電気電子情報	(再)
鈴木 正幸	静岡県	電気電子情報	(再)
長谷川淳治	神奈川県	電子通信	(再)
江崎 長昭	神奈川県	コンピュータ・メディア	(再)
杉山 淳史	北海道	コンピュータ・メディア	(再)
堤 唯見	千葉県	コンピュータ・メディア	(再)
柳 邦宏	神奈川県	建築	(再)
青沼 富重	長野県	システム情報	(再)
片山 勝美	愛知県	システム情報	(再)
久保田秀夫	東京都	システム情報	(再)
持田 康	山梨県	環境情報	(再)
猪俣 忠雄	静岡県	機械	(再)
深谷 智章	東京都	機械	(再)
鈴木 迭充	神奈川県	機械システム	(再)
久保 清美	福岡県	電気電子情報	(再)
小松 寛	北海道	電気電子情報	(再)
林 孝次	東京都	電気電子情報	(再)
亀井 朗	千葉県	電子通信	(再)
稲川 元	新潟県	コンピュータ・メディア	(再)
熊谷 孝二	宮城県	建築	(再)

酒井 満	福岡県	建築	(再)
大庭 政博	神奈川県	都市基盤	(再)
児玉 厚	茨城県	都市基盤	(再)
津田 博之	神奈川県	都市基盤	(再)
三浦 忍	広島県	システム情報	(再)
井内 敏明	広島県	環境エネルギー	(再)
越谷 健一	群馬県	環境エネルギー	(再)
齋藤 互	埼玉県	環境情報	(再)
荒木 泉	静岡県	情報メディア	(再)
田村 高弘	神奈川県	情報メディア	(再)
岩上 守宏	東京都	機械	(再)
浦田 哲郎	群馬県	機械	(再)
中武 正直	宮崎県	機械	(再)
久保田和俊	静岡県	機械システム	(再)
星野 順二	福岡県	生体医	(再)
渡會 英明	神奈川県	生体医	(再)
石名田広重	富山県	電気電子	(再)
小野田良夫	静岡県	電気電子	(再)
川俣 光雄	東京都	環境エネルギー	(再)
進藤 俊典	石川県	環境エネルギー	(再)
田中 信也	東京都	環境エネルギー	(再)
植村 慶夫	新潟県	建築	(再)
樋泉 由規	山梨県	建築	(再)
畠山 昌志	岩手県	都市	(再)
渡邊 裕明	埼玉県	都市	(再)
竹内 真一	東京都	情報ネットワーク	(再)
中河 吉秀	東京都	応用情報	(再)
石渡 光夫	神奈川県	環境情報	(再)
阪根 憲司	東京都	環境情報	(再)
小林 裕	神奈川県	情報メディア	(再)
岡崎 章浩	神奈川県	情報メディア	(再)
小林 清	神奈川県	情報メディア	(再)

國見 章	神奈川県	機械	(新)
高嶋 幸夫	茨城県	機械	(新)
末永 政人	富山県	機械システム	(新)
岩堀 康宏	神奈川県	機械システム	(新)
打田 達成	東京都	原子力安全	(新)
松岡 尚	栃木県	生体医	(新)
東 秀行	千葉県	生体医	(新)
窪田 法明	東京都	電気電子	(新)
小林興太郎	東京都	電気電子	(新)
伊達 厚	東京都	電気電子	(新)
林田 道弥	神奈川県	電気電子	(新)
光村 邦廣	神奈川県	エネルギー化学	(新)
河野 哲也	神奈川県	建築	(新)
宮島 治	埼玉県	建築	(新)
笠原 正行	宮城県	都市	(新)
加藤 宏	栃木県	都市	(新)
石村 護仁	千葉県	情報科学	(新)
國津 義治	埼玉県	情報科学	(新)
前田 健二	鹿児島県	情報科学	(新)
佐古 真一	神奈川県	情報ネットワーク	(新)
神之門栄一	東京都	応用情報	(新)
小平 親夫	長野県	環境情報	(新)
末永 敏男	神奈川県	環境情報	(新)
室本 光敏	東京都	環境情報	(新)
青木 進	神奈川県	環境情報	(新)
岩瀧 正之	神奈川県	環境情報	(新)
大方 俊吾	福島県	情報メディア	(新)
佐藤 達郎	福島県	情報メディア	(新)
田中 誠	東京都	情報メディア	(新)
丸田 俊哉	神奈川県	情報メディア	(新)

※(新)は新任、(再)は再任



1 事業

1. 正課外教育援助

(1-1) 課外活動援助

<1-1-1> 学生団体連合会へ課外活動の援助

<1-1-2> ①学生団体連合会準加盟の学科研究会等への援助 ②学科活動に対する援助(1学科10万円計130万円)

<1-1-3> 一般援助(申請による補助) 下記補助制度の基準により援助

「課外活動に対する補助制度」基準		
項目	補助内容	備考
1 豊かなキャンパスライフづくりのための特色ある活動	1-1 全学生向けの見学会・講演会・講習会・体験会・競技会等公開企画提供に対する補助	ヨット試乗会 ナイトラリー等
	1-2 全学的学生行事への補助(MI-TECH祭、MI-TECH横浜祭、体育祭を除く)	スプリングフェスティバル等
	1-3 学内情報活動(放送・通信・印刷物・映像情報等)における特別な活動への補助	新聞会、放送会等
	1-4 キャンパス環境向上(キャンパス整備・美化等)のための活動への補助	クリーン・キャンパス運動等
	1-5 課外活動奨励補助	大会・コンテスト等で優勝等
	1-6 課外研究活動への補助	学科の研究会等
	1-7 創部記念行事等への補助	記念コンサート等
	1-8 特別な活動用具・経費の補助	団体独自で加入している保険等
2 特色ある対外活動	2-1 全国レベル大会出場への補助	全国大会・東日本大会等
	2-2 対外的行事主催・運営の補助(幹事大学として運営を担当する場合)	理工系リーグ大会等
	2-3 特別対外活動への補助	
	2-4 地域交流活動への補助	バレーボール大会等
	2-5 ボランティア活動への補助	
3 学生団体統括組織の活動	課外活動の統括組織の活動に対する補助	学団連・同好会及び学科研究会の各本部
4 その他の特色ある活動	上記1.~3.の他の特色ある活動で、団体あるいは個人が企画する行事も補助の対象となります。企画・計画がある場合に利用して下さい	

<1-1-4> 学生行事への援助

スプリングフェスティバル、ナイトラリー、バンドフェスティバル、公開企画、特別行事等に対する補助

<1-1-5> 強化団体への援助

関東リーグ相当クラスの上位リーグで活躍する団体に対して、チーム強化のための補助

<1-1-6> その他の援助

シャトルバスの運行費用、校名変更に伴う援助(370万円)

(1-2) 学生顕彰

<1-2-1> 課外活動奨励賞の授与

学生表彰授賞式において、賞状及び副賞を授与

<1-2-2> 後援会長賞の授与

学位授与式(卒業式)において、課外活動に貢献した学生約20名を表彰し、賞状及び副賞を授与

(1-3) 学生生活指導 学生の生活指導に対する援助

- ア.学生団体責任者を対象としたリーダーズ研修会費用の補助
- イ.安全教育として学生団体を中心に救命講習会の受講を義務付け、その費用を援助
- ウ.学生(留学生含む)の国際交流活動に対し補助
- エ.その他学生生活指導上必要と認められる事柄に援助

2. 大学と父母との連絡会の開催【裏表紙参照】

全国各地において「大学と父母との連絡会」を共催
今年度は、首都圏開催地を本学会場(世田谷・横浜)の他、昨年に続き埼玉と、1年ぶりの四国松山を含め22会場で開催、本学会場は、平成20年9月27日(土)を予定

3. 大学行事への協力

大学及び学生が主催する大学行事(体育祭、MI-TECH横浜祭、MI-TECH祭)への援助、さらに、学園祭活性化支援として、展示、研究発表の研究室への補助

4. 学生厚生援助

学生の厚生施設・設備の充実のための補助(学生利用施設)

5. 会誌の発行

後援会の会誌MI-COMを年2回発行し、学内の動きを父母に連絡するとともに、誌面を通して会員相互の親睦をはかる

6. 新入生研修行事(フレッシュマン・キャンプ)への援助

毎年4月に実施する新入生対象のフレッシュマン・キャンプへの補助

7. 就職活動に対して援助

進路就職適正検査等への援助

8. 緊急奨学金の貸与

会員の家計の急変により学業の継続が困難な学生に対し、授業料の全額又は半額を貸与

9. 役員・評議員と大学教職員との懇談会の開催

平成20年5月24日(土)の評議員会終了後開催

2 運営

1. 会議

- (1) 理事会 年2回 ①平成20年5月10日(土)、②11月22日(土)予定
- (2) 評議員会 年1回 平成20年5月24日(土)

2. その他

平成20年度 予算

平成20年4月1日～平成21年3月31日

科目	平成19年度予算	平成19年度決算	平成20年度予算	平成19年度予算との比較
(収入の部)	(円)	(円)	(円)	(円)
1. 会費	72,560,000	72,560,000	73,930,000	※1
2. 雑収入	145,000	184,587	145,557	
3. 前年度繰越金	9,796,935	9,796,935	11,824,443	
収入の合計	82,501,935	82,541,522	85,900,000	+ 3,398,065
(支出の部)				
事業費	62,948,000	57,164,324	69,328,000	+ 6,380,000
1. 正課外教育援助費	31,100,000	26,806,792	36,100,000	+ 5,000,000
1-1 課外活動援助費	29,900,000	25,959,779	34,900,000	+ 5,000,000
1-1-1 学生団体連合会援助	17,500,000	17,500,000	17,500,000	0
1-1-2 学科研究会等援助	800,000	500,000	2,100,000	+ 1,300,000
1-1-3 一般援助	7,500,000	4,184,984	7,500,000	0
1-1-4 学生行事援助	900,000	802,645	900,000	0
1-1-5 団体強化援助	900,000	900,000	900,000	0
1-1-6 その他の援助	2,300,000	2,072,150	6,000,000	+ 3,700,000
1-2 学生顕彰費	800,000	618,073	800,000	0
1-3 学生生活指導費	400,000	228,940	400,000	0
2. 父母連絡会費	4,500,000	4,463,115	5,000,000	+ 500,000
3. 大学行事協力費	3,600,000	2,717,537	3,600,000	0
4. 学生厚生援助費	1,000,000	986,580	1,000,000	0
5. 会報発行費	4,000,000	3,601,500	4,000,000	0
6. 新入生研修行事費	11,648,000	11,648,000	12,128,000	+ 480,000
7. 就職活動援助費	7,100,000	6,940,800	7,500,000	+ 400,000
運営費	9,350,000	7,340,986	8,000,000	- 1,350,000
8. 事務費	5,400,000	4,158,305	4,000,000	- 1,400,000
9. 会議費	800,000	710,566	800,000	0
10. 印刷・通信費	1,000,000	646,595	1,000,000	0
11. 旅費・交通費	1,800,000	1,692,920	2,000,000	+ 200,000
12. 備品費	300,000	95,550	150,000	- 150,000
13. 雑費	50,000	37,050	50,000	0
予備費(慶弔費含む)	300,000	211,769	2,572,000	+ 2,272,000
特別会計	6,000,000	6,000,000	6,000,000	0
14. 後援会基本積立	0	0	0	0
15. 記念事業費積立	4,000,000	4,000,000	4,000,000	0
16. 学生事故対策援助費積立	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0
17. 特別課外活動援助費積立	0	0	0	0
小計	78,598,000	70,717,079	85,900,000	+ 7,302,000
次年度繰越金	3,903,935	11,824,443	0	- 3,903,935
支出の合計	82,501,935	82,541,522	85,900,000	+ 3,398,065

※1 入学総数1,516名 この内の51名が留学生でその内の3名が入金。(計73,400,000円)
 更に、2年編入生(@4万)5名、3年編入生(@3万)11名が入金。(計 530,000円)
 留学生については、家計を考慮し会費納入は各自の自由意志に任せている。

平成20年度 緊急奨学金予算

経常収入の部	平成19年度実績	当期予算
前年度繰越金	13,722,977	13,559,539
緊急奨学金返済収入	1,154,500	6,529,500
利息収入	22,377	20,000
経常収入計	14,899,854	20,109,039
経常支出の部		
緊急奨学金貸付支出	1,340,000	2,680,000
貸倒損失	0	0
雑費	315	2,000
経常支出計	1,340,315	2,682,000
経常収支	13,559,539	17,427,039

(単位:円)

2008スプリングフェスティバル

★ 目標に向かって走れ!!

サッカー元日本代表

北澤 豪氏 特別講演会開催 ●平成20年4月3日(木)

元Jリーガー、北澤豪氏による特別講演会は、平成19年度体育会会長の松山隼也君(機械工学科4年)と平成19年度フットサル部主将の土井洋和君(環境情報学科4年)を質問者としたユニークな質疑応答スタイルで行われました。途中では、ボランティア活動の一環として、北澤氏がソパレスチナ自治区ジェリコ市にてサッカー親善試合を行ったときのドキュメントDVDも上映。ここでは、充実した講演の様様をダイジェストでご紹介します。

ボクは高校までである意味でサッカーエリートでした。試合ともなれば必ず11人のメンバーの中にも選ばれるという自信がありました。だけど社会人になったら、全然試合に出してもらえない。フィジカル面はもちろん、メンタル面がまだ成熟していなかったんですね。それに気づいたのは、父のアドバイスがきっかけ。「お前は監督によく怒られるだろう? それは監督のほうがお前のことを理解しているということじゃないのか。お前自身は自分のことを知らないんじゃないのか」と父は言うんですね。そういえば自分はまったく自分のことを振り返ってなかったと気づいたんです。練習にしても、自分の長所、短所を把握せず、ただ与えられたノルマをこなすということの繰り返し。これではダメですね。そこで一度自分のいいところと悪いところをノートに全部書き出してみた。すると書いているうちに、長所を伸ばすためにやるべきことや短所を克服するためにやるべきことが明確に見えてきた。いま自分にはどんな練習が必要なのか、論理的にわかったわけですね。おかげで以後はぐっとスキルがアップ。頭が論理的になっているために、プレイスタイルもそれまでとはガラッと変わりました。ボクはスピードがあるほうではないのですが、頭の回転が速くなると、プレイのスピードも上がるんですね。それで試合にも出してもらえるようになりました。その後、日本サッカーリーグで得点王になり、日本代表選手にも選ばれたのも、このときに自分自身を客観的に見つめ直したおかげです。

ボクのこのエピソードは、皆さんが目標を達成する上でも役立つのではないのでしょうか。まずは自分自身と真剣に向き合うこと。

そうすることで、目指すゴールに至るプロセスで自分が何をやらなければならないかが見えてくると思います。

それと目標に近づいたかったら、間近なことだけじゃなく、ちょっと先まで見渡せる視野の広さも必要でしょう。サッカーを例に出すと、一流の選手になるにはゲーム開始のホイッスルが鳴ったときに、その瞬間のことしか考えていないようではだめで、終了のホイッスルが鳴るまでゲームの流れを頭の中でなんとなくプランニングできていなければいけない。中村俊輔君などがそうですが、ゲームプランを立てられる人は、顔つきが他の選手とまったく違う。もちろん実際のゲームはプラン通りに進みませんが、そういう思考ができていれば、ゲームが終わった後の反省もとても発展的なものになり、たとえ負けたとしても次のステップアップに繋がるのです。皆さんもそんな先の方まで見渡せる視野を是非養ってください。



■北澤豪氏プロフィール

1968年、東京都生まれ。読売サッカークラブ・ジュニアユース、修徳高校、本田技研工業サッカー部を経て、読売クラブ(現東京ヴェルディ)へ。98年にはJリーグ通算200試合出場達成。日本代表として多数の国際試合で活躍。03年に現役引退。現役時代からボランティア活動にも積極的に取り組み、04年Jリーガーでは初の日本サッカー協会国際委員に就任。JICAオフィシャルサポーターとしてサッカーの発展・普及に努めている。



平成20年度 体育祭レポート

☆1年生や学科・研究室の学生参加も多数で、大きな盛り上がりを見せる

平成20年度体育祭実行委員長 佐々木 和浩 (電気電子情報工学科3年)

平成20年5月14日(水)・15日(木)の二日間にわたり、武蔵工業大学体育祭が世田谷・横浜の両キャンパスで同時開催されました。過去最多の22競技で熱い闘いが繰り広げられました。

平成20年度 体育祭 総括

本年度の体育祭は、初日の午前の大雨により競技の場所、時間の変更や中止種目も出てしまいました。世田谷キャンパスではグラウンドでの競技を中止としましたが、校内放送を使って連絡をすることにより参加者にその旨を伝えました。横浜キャンパスの「フットサル」はフットサル場のトーナメントを午後に移動し、バスケットコートのトーナメントを2日目に移動することにより対処しました。

今年は、例年からある人気競技に加え、去年のアクションで行い好評だった「グルグルバットリレー」、体育会団体抜きで行われた「ムサコーレース」などを加えて22種目を行いました。特に、新競技のムサコーレースは体育会団体がないため、どのチームも勝てるのではないかという思いのなか、楽しみながら参加してもらいました。参加者は世田谷、横浜両キャンパスで約3,500人で、昨年と同様に、全体として大きな盛り上がりを見せました。また、一般学生の日頃の運動不足も解消したことと思います。

去年に引き続き行った「耐久腕立て伏せ」は最後の競技ということもあり観客が多く、大いに盛り上がりました。

体育祭をやり終えて、今年度の体育祭の目標は、今まであまり体育祭に参加しなかった1年生や学科・研究室の人達にも参加してもらおうというものでした。実際に「ムサコーレース」では学科のなかで作ったチームの人達が優勝するという結果となりました。このように、学科対抗競技は来年度以降も継続していこうと思います。

なお、本部メンバーの1人が準備のために寝不足となってしまう、閉会式中に貧血で倒れてしまうというアクシデントがありました。こうしたメンバー全員の頑張りがあったからこそ体育祭が成功したといえるでしょう。

最後に、体育研究室を始め、多くの先生方、事務局の方々、体育会本部OBの方々の多大なるご協力のおかげで大きな問題も起きずに無事終了することが出来たことをご報告し、体育会本部を代表してこの場を借りて厚く御礼申し上げます。



開催種目

●世田谷キャンパス

卓球/バレーボール/相撲/腕相撲/ドッジボール/PK合戦/ソフトボール/綱引き/グルグルバットリレー/3ON3/耐久腕立て伏せ/テニス/ミニサッカー/キックベース/リレー/騎馬戦/ムサコーレース

●横浜キャンパス

フットサル/フリースロー/長縄/バドミントン/バスケットボール

第12回 MI-TECH横浜祭レポート

★日本に広がれ! カーボンオフセット学園祭

平成20年度MI-TECH横浜祭運営委員会 会長 石原 碧 (環境情報学科3年)

平成20年5月31日(土)・6月1日(日)、横浜キャンパスにおいて第12回MI-TECH横浜祭が開催されました。「No Wall」をテーマに、日本の学園祭史上初の試み「カーボンオフセット」も実施されました。

今年度、私たちY.F.A.は「武蔵工大とお客さまを意識した学園祭を創る」という活動方針の下、1年間活動してまいりました。MI-TECH横浜祭は今年で12回目を数え、テーマとして「No Wall」を掲げました。「No Wall」の言葉には、横浜祭に訪れてくださったお客さまの世代・性別・国籍の壁を超え、全ての方々に楽しんでいただきたいという願いをこめました。また、これまで先輩方が努力を重ね、作り上げてきた過去11回の横浜祭を超えていこうという気持ちもこめています。

今年は残念ながら土曜日は、雨や低温の中開催いたしました。しかし、日曜日はずっとかわって晴天に恵まれ、青空の下横浜祭を開催することが出来ました。1日目が雨だったにも関わらず、今年も8,575人という非常に多くのお客さまにご来場いただくことができたのは、横浜祭が地域に根付いてきた表れだと思います。

学園祭の内容と致しましては、日本の学園祭で初めて「カーボンオフセット」を実施いたしました。カーボンオフセットとは、

学園祭開催におけるCO2排出量を計算し、それを相殺するだけの木を植えるというものです。NPO法人の方々や、大学の方々のご協力もあり、日本の学園祭という枠組みでも新たな1歩を踏み出すことが出来たと思います。

最後になりましたが、第12回横浜祭を開催するにあたり、ご協力いただきました教職員の方々、家族、多くの関係者の皆様に、スタッフ一同この場を借りて厚く御礼申し上げます。

企画内容

5/31(土)

- 開祭式 ●クイズ+ゲーム ●音楽LIVE ●ビンゴ
- 研究室企画・展示 ●講演会 ●クラブ発表・展示
- 進学相談会 ●プラネタリウム ●和太鼓 ●模擬店

6/1(日)

- 演奏会(吹奏楽団) ●クイズ+ゲーム ●研究室発表・展示
- クラブ発表・展示 ●音楽LIVE ●お笑いライブ
- ストリートパフォーマンス ●学生プロレス ●フリーマーケット ●演武会 ●模擬店 ●閉祭式





フレッシュマンキャンプレポート

☆さまざまなイベントを通して、新しい仲間と親睦を深めあう

情報ネットワーク工学科 教授 1年担任 佐和橋 衛

知識工学部情報科学科、情報ネットワーク工学科の新生は、4月8日、9日の両日に世田谷キャンパスおよび木更津龍宮城ホテル三日月にてフレッシュマンキャンプを実施しました。情報科学科、および情報ネットワーク工学科の新生に加えて、2、3年生の上級生、および教職員の総勢228名が参加しました。

8日の午前は、4号館建築棟の製図室で10名程度の各班にわかれて自己紹介のポスター作成を行いました。開始当初は、入学後初めて顔を合わせる学生同士も多く、口数も少ない状態でしたが、昼頃には活発に意見交換をできるほど親密になってきました。昼食をはさんで、午後から教職員を含めてポスターの発表会を行いました。各班、「力作」のポスターを熱心にアピールしていました。

その後、バスで宿泊地の木更津のホテルに移動しました。大雨、強風の悪天候でアクアラインは使用できず、急遽、東京経由の陸路での移動になり、計画より遅れて

ホテルに到着しました。大広間での班毎の夕食、懇親会時には、学生は充分打ち解けて、和気あいあいの雰囲気でした。夕食後は、フレッシュマンキャンプのメインイベントである前期の授業の履修相談を担当の教員と順次行いました。履修相談待ち、あるいは終了した学生は、温泉など思い思いに空き時間を有効に楽しんでいました。全員の履修相談の終了が12時を越える非常に熱心な班もありました。

2日目は、ホテルでの朝食後、バスでマザー牧場に移動して、班毎あるいは数人のグループで自由時間を満喫していました。昼食時に初日に行われた各班のポスターの審査結果の発表を行いました。帰路のバス内は、2日間の疲れで大多数が熟睡モードでした。2日間という短い時間でしたが、同級生および教職員と親密になる非常に良い機会だったと思います。今後、充実した学生生活を送ってくれることを切に希望します。



夕食懇親会



マザー牧場で癒されました



遊んだ後はBBQ



ポスターセッションの表彰式

●日程

4/8(火) 9:00 大学集合
9:00~11:30 各班紹介ポスター作り
(建築棟1階製図室)
11:30 昼食
13:00~14:15 ポスター発表会
15:00 大学出発
17:00 ホテル到着(予定)
18:30 夕食・懇親会(大広間で班毎の配置)
20:30 履修相談(小宴会場)

4/9(水) 7:30 朝食
9:15 ホテル出発
10:00~12:00 マザー牧場(自由行動)
12:00 昼食(ジギスカンセンター)
13:00 班毎自己紹介ポスターの表彰式
13:45 マザー牧場出発
16:00 蒲田駅解散

事務局便り

平成20年4月より2期目の学生部長を任命され、併せて後援会事務局長を仰せつかることになりました。前年度と同様によろしくお願いたします。

後援会は発足以来20年余が経ち、現在、会員のご父母の方々は、一部の留学生を除いて全員加入されています。後援会活動は、発足当初から学生の正課外活動を中心に支援を積極的に行ってきましたが、5~6年前頃から正課外活動以外に修学等に関することにも積極的に支援してきました。学園祭や体育祭等の学生行事やクラブ・サークル活動への支援や優秀な正課外活動の成果への学生表彰などを行い、学生生活の充実やクラブ・サークル活動の活性化に寄与してきました。さらに、最近では新入生研修行事への支援や将来を見据えた意識改革をするキャリア活動にも支援の輪を広げ、全ての学生へ支援活動を展開してきました。本年が最後の武蔵工業大学の名前です。学生諸君には戸惑いと不安と希望があるかと思います。少しでも戸惑いと不安を払拭して、生き活きた学生生活が送れるように支援していきたく存じます。

後援会会員の皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



学生部長
平井昭司

(工学部
原子力安全工学科
教授)

◆◆平成20年度◆◆「大学と父母との連絡会」のお知らせ◆◆

全国22ヶ所
で開催

後援会と大学との共催により平成20年度「大学と父母との連絡会」を下記の22会場で開催します。大学側から教職員の方が出席され、教育方針や現況等について説明していただくと共に、在学する子女の修学および学生生活上の諸問題について懇談することを目的としております。奮ってご出席ください。

◆平成20年度「大学と父母との連絡会」日程および会場

開催地	開催日	時間	会場
札幌	9月6日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	札幌全日空ホテル 〒060-0003 札幌市中央区北3条西1-2-9 (TEL 011-221-4411)
仙台	9月6日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテルJALシティ仙台 〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-2-12 (TEL 022-711-2580)
郡山	9月7日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテルプリシード郡山 〒963-8004 郡山市中町12-2 (TEL 024-925-3411)
水戸	9月6日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホリデイ・イン水戸 〒310-0803 水戸市城南2-2-2 (TEL 029-300-1100)
宇都宮	9月6日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	宇都宮ポートホテル 〒321-0953 宇都宮市東宿郷2-4-1 (TEL 028-632-7777)
さいたま	9月7日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	浦和ロイヤルパインズホテル 〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-5-1 (TEL 048-827-1111)
東京	9月27日(土)	受付開始 11:00 開催 12:15~15:30	武蔵工業大学 世田谷キャンパス 〒158-8557 世田谷区玉堤1-28-1 (TEL 03-3703-3111)
横浜	9月27日(土)	受付開始 10:00 開催 10:30~14:00	武蔵工業大学 横浜キャンパス 〒224-8551 横浜市都筑区牛久保西3-3-1 (TEL 045-910-2500)
高崎	9月14日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテルメトロポリタン高崎 〒370-0849 高崎市八島町222 (TEL 027-325-3311)
新潟	9月13日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテルイタリア軒 〒951-8061 新潟市中央区西堀通7-1574 (TEL 025-224-5111)
甲府	9月6日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテル談露館 〒400-0031 甲府市丸の内1-19-16 (TEL 055-237-1331)
長野	9月7日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテルJALシティ長野 〒380-0834 長野市問御所町1221 (TEL 026-225-1131)
富山	9月14日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	名鉄トヤマホテル 〒930-0004 富山市桜橋通り2-28 (TEL 076-431-2211)
金沢	9月13日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	金沢都ホテル 〒920-0852 金沢市此花町6-10 (TEL 076-261-2111)
三島	9月6日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテル・エルムリーゼンシー 〒411-0903 静岡市駿東郡清水町堂庭262 (TEL 055-976-7878)
静岡	9月7日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテルセンチュリー静岡 〒422-8575 静岡市駿河区南町18-1 (TEL 054-284-0111)
浜松	9月6日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	オークラアクティホテル浜松 〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2 (TEL 053-459-0111)
名古屋	9月7日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテルアソシア名古屋ターミナル 〒450-0002 名古屋市中村区名駅1-1-2 (TEL 052-561-3751)
広島	9月6日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	リーガロイヤルホテル広島 〒730-0011 広島市中区基町6-78 (TEL 082-502-1121)
福岡	9月7日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテル日航福岡 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-18-25 (TEL 092-482-1111)
松山	9月13日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	松山東映ホテル 〒790-0065 松山市宮西1-3-40 (TEL 089-924-2121)
鹿児島	9月6日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ブルーウェーブイン鹿児島 〒892-0844 鹿児島市山之口町2-7 (TEL 099-224-3211)